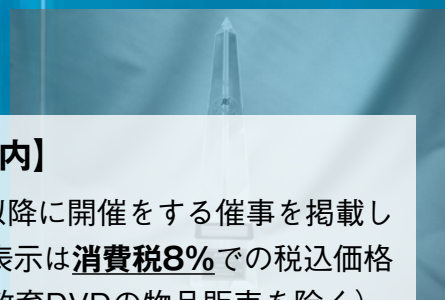
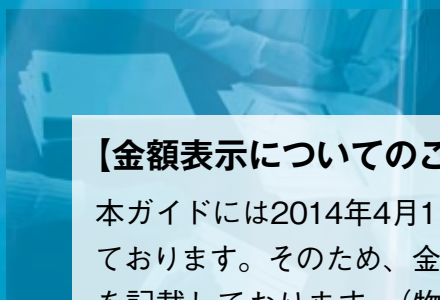
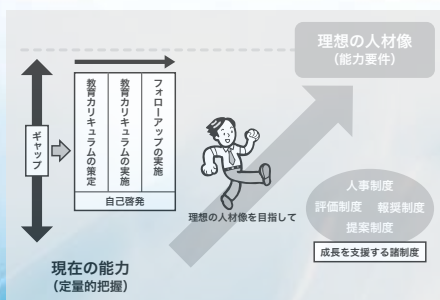


— 人材育成は、企業の盛衰を決める最大の経営戦略 —

物流・ロジスティクスにおける 人材育成支援ガイド 2014



【金額表示についてのご案内】

本ガイドには2014年4月1日以降に開催をする催事を掲載しております。そのため、金額表示は**消費税8%**での税込価格を記載しております。(物流教育DVDの物品販売を除く)

目 次

◆日本ロジスティクスシステム協会 人材育成事業のご案内	1
◆日本ロジスティクスシステム協会は、人材育成のお手伝いをします	2
◆人材育成支援メニュー	3~24
JILSの資格制度とJILSが提供する人材育成支援メニュー	3
物流・ロジスティクス領域における人材イメージと、JILSからのソリューション提案	4
人材育成に関する企業の取り組み例	6
● ロジスティクス経営士資格認定講座	7
● 物流技術管理士資格認定講座	8
● 物流技術管理士補スクーリング	9
● ロジスティクス基礎講座	9
● 国際物流管理士資格認定講座	10
● グリーンロジスティクス管理士資格認定講座	11
● 物流現場改善士資格認定講座	12
物流教育DVD	13
セミナー 一覧	14~15
● 各種セミナーのご案内	15~22
社内教育・コンサルティング・通信教育	23
人材育成のための支援ツール(手引書など)	24
◆企業事例から学ぶ	25~27
先進事例から学ぶ(講演会・研究会など)	25~26
物流改善事例から学ぶ(改善事例発表会など)	27
物流施設を見学して学ぶ	27
◆ロジスティクスコンセプト2020	28
◆入会のご案内	28
◆パンフレット送付依頼フォーム	29

●公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 人材育成事業のご案内●

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
会長 西田 厚 聡
(株式会社東芝 取締役会長)



わが国経済は、輸出の持ち直しや、株価の上昇など、景気回復の動きが見受けられるものの、海外景気の下振れ、エネルギー価格の高騰など、目まぐるしく経営環境は変化しており、依然として予断を許さない環境にあります。

このような環境下においても、わが国産業が継続的に、力強く発展していくためには、新興国や欧米各国など、その地域・経済特性に合わせ、生産拠点として、また、マーケットとして、グローバルな視点で戦略を立てることが重要になります。グローバルレベルでのネットワークの構築、スピード化への対応、ローコストオペレーションの追求、サービスと品質の向上、環境負荷低減、リスクマネジメント等、効率的なロジスティクスの実現が企業の国際競争力の強化に大きく貢献します。

当協会では2012年6月に協会創立20周年記念事業として実施した「2020年ロジスティクス総合調査」の成果として「ロジスティクスコンセプト2020」を発表しました。

「ロジスティクスコンセプト2020」は、産業界、社会に対し、将来におけるロジスティクスのあるべき姿とそれを実現するための取り組み指針を示しております。

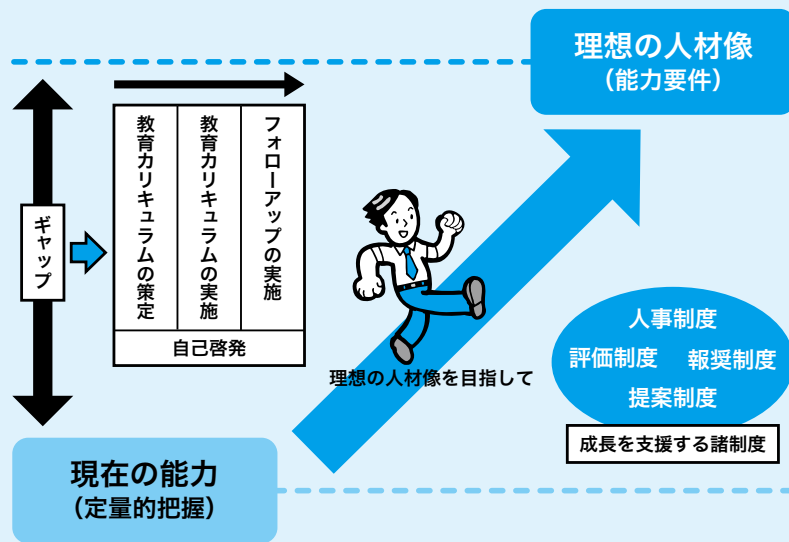
「ロジスティクスコンセプト2020」のなかでは、【ロジスティクスの指針（あるべき姿を実現するための取り組み）】として7つの指針を掲げています。そのなかで、ロジスティクスの統合管理による全体最適化・競争力強化においては、ロジスティクスの統合管理を実現するためのマネジメント改善に取り組み、さらに、統合管理を実現する人材育成を重要課題として取りあげております。

企業は、体系的で専門的な知識と幅広い知見を有したロジスティクス人材を育成するため、キャリア形成のマスタープランと、職業能力要件を設定し、適正な人材育成をする必要があります。人材育成こそが、これからますます多様化する経済環境において、持続可能な発展を遂げていくための重要な要素となるからです。

当協会においても、各種資格認定講座、セミナー、ならびに社内教育等、様々な形で企業の人材育成の支援をしております。これからの活力ある企業経営と国内外の厳しい企業競争に勝ち抜くための、ロジスティクスのスペシャリスト育成については、当協会にご相談ください。どうぞ、ご案内申し上げます。

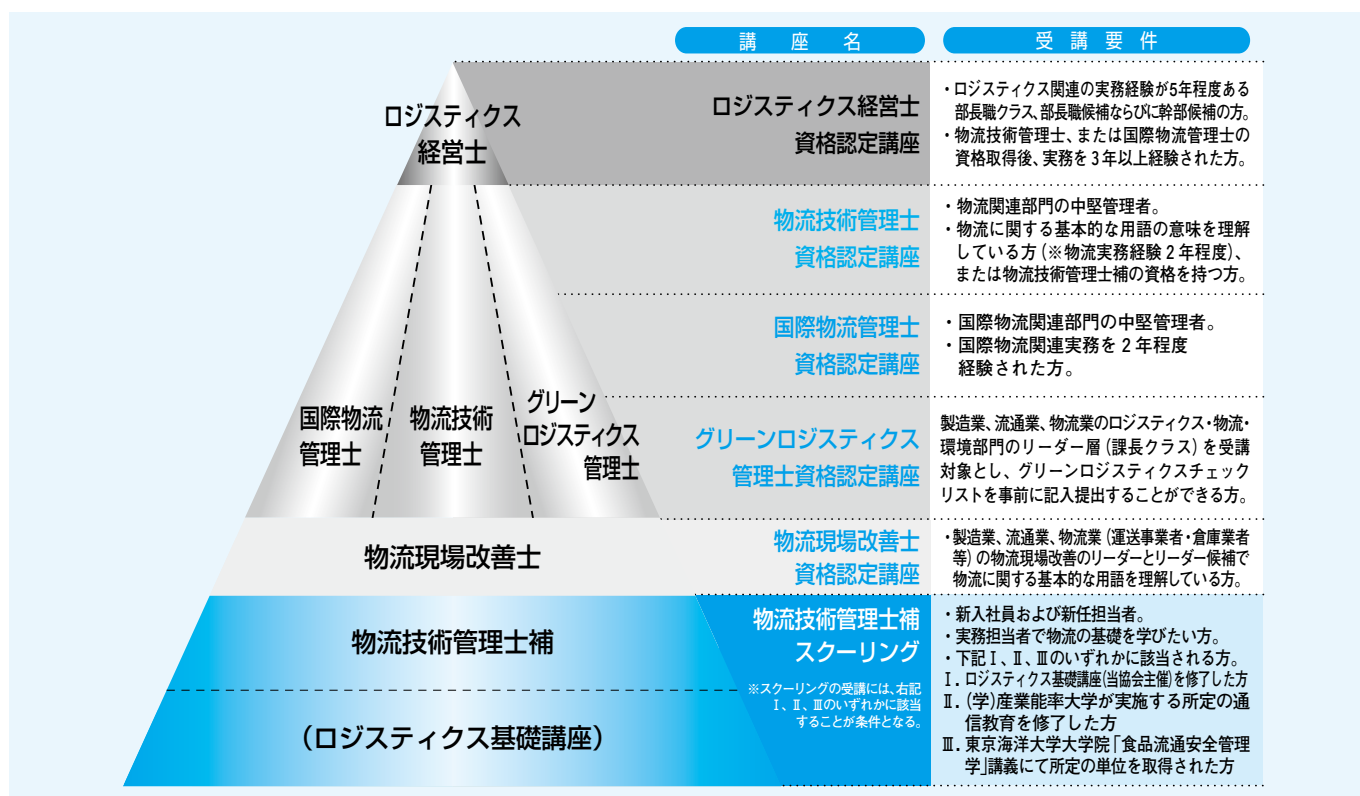
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、 物流・ロジスティクスに関する人材育成のお手伝いをします。

- ・グローバル化の進展にともなう国際競争の激化や、地球環境問題への対応などにより、経営環境は大きく変化し、これに伴い、ロジスティクスのさらなる高度化が求められています。ロジスティクスの高度化による企業競争力の強化を目指すのであれば、物流・ロジスティクス関連業務を担う従業員を、体系化された人材育成計画のもとで継続的に育成し、自社の「人材力」を高めていくことが重要となります。
- ・一般的に、人材育成は、①組織の現状把握、②「理想の人材像」の策定とギャップ把握、③教育カリキュラムの策定、④教育カリキュラムの実施と評価、⑤教育カリキュラムのフォローアップと実施・応用、⑥人事諸制度の策定の順で行われます。
- ・公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、上記の実施手順の各段階で、物流・ロジスティクス関連業務を担う方々の育成のお手伝いをします。



実施方策	アプローチ	実施手順 (ステップ1~6)	JILSからのご支援	
1 組織の現状把握	社員の現状の能力を業務別・職位別に調査する。組織の現状を把握する。 point! 組織風土の調査。総合的な組織の現状把握。	1 ①調査項目の確認 ②社員の能力調査 ③組織風土の調査	①調査項目の確認 能力要件の調査項目を確認する。 ②社員の能力調査 能力要件の各項目別に能力調査を行う。 ③組織風土の調査 組織やその風土を調査し、特徴を把握する。	組織風土の調査や総合的な組織の現状把握をお手伝いをします。
2 「理想の人材像」の策定とギャップ把握	「理想の人材像」を策定し、「能力要件」を業務別・階層別に設定。現状のギャップ(問題点)を把握する。 point! 「理想の人材像」の明確な定義と、組織全体への浸透。	2 ④「理想の人材像」の策定 ⑤ギャップの把握 ⑥組織への浸透	④理想像の策定 「理想の人材像」を策定する。 ⑤ギャップ把握 理想と現実のギャップ(問題点)を把握する。 ⑥組織への浸透 理想の人材像に求められる能力やスキルを「能力要件定義書」にまとめ、組織全体で共有する。	経営ビジョンに基づいた「理想の人材像」の策定、問題点の把握等をご支援します。
3 教育カリキュラムの策定	能力要件に基づき、具体的な教育カリキュラムを領域別(業務・階層等)に策定する。 point! 「理想の人材像」に求められる知識やスキルの習得。PDCAサイクルの設定。	3 ⑦知識・スキルの整理 ⑧教育カリキュラムの策定	⑦必要な知識・スキルの整理 能力要件に基づき、領域別(業務・階層等)に求められる知識やスキルを整理し、体系化する。 ⑧教育カリキュラムの策定 領域別に求められる知識やスキルの習得に必要なカリキュラムを策定する。	御社の目的に沿った教育カリキュラムを企画・立案します。
4 教育カリキュラムの実施と評価	形態別(社内や社外教育)に教育・研修活動を実施し、設定した評価基準で評価する。 point! 適切な教育・研修形態の設定と教育効果の検証。	4 ⑨教育カリキュラムの実施 ⑩教育カリキュラムの評価	⑨教育カリキュラムの実施 策定した教育カリキュラムに基づき、教育・研修活動計画を策定・実施する。 ⑩教育カリキュラムの評価 能力要件定義書を踏まえ、教育カリキュラムの成果を適切に評価する。	企業別研修や各種講座・セミナー・研究会等の実施、評価をします。
5 教育カリキュラムのフォローアップと実施・応用	知識やスキルの定着・醸成・深化を目指し、フォローアップを実施する。 point! 学んだ知識やスキルを効果的に機能させる。	5 ⑪教育効果の検証 ⑫フォローアップの実施	⑪教育効果の検証 教育・研修を受けた社員の知識やスキルの変化を調査し、業務対効果を検証・評価する。 ⑫フォローアップの実施 知識・スキルの定着や醸成、深化を実現するため、必要に応じ、フォローアップを行う。	教育・研修効果の確認、その後のフォローアップをお手伝いします。
6 人事諸制度の策定	あるべき姿や理想の人材像、経営戦略等に根ざした人事諸制度を策定する。 point! 「自社の現状の姿」と「将来のあるべき姿」を把握する。	6 ⑬人事諸制度の策定	⑬人事諸制度の策定 人事諸制度や人材開発プログラムの策定、教育研修活動の構築等を進める。	人事諸制度の策定から人材開発支援までお手伝いします。

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会の資格制度



JILS が提供する人材育成支援メニュー

資格認定講座

資格認定講座では、階層・領域別に物流・ロジスティクスに関する専門知識とマネジメント技術を習得したスペシャリストを育成し、資格を授与します。

新人・新任担当者を対象とした講座から、物流関連部門の中堅管理者を対象とした講座、トップマネジメント層を対象とした講座まで、様々な階層に対応した講座をご用意しています。また、国際物流、物流現場改善、グリーンロジスティクスについては、それぞれの領域に内容を特化して、専門家を育成する講座をご用意しています。

資格認定講座では、各専門分野における第一線の実務家、コンサルタント、学識経験者が集い、実務に即した講義を行ないます。また、ケーススタディによるグループディスカッションを多く取り入れることで、知識を実践に移すためのノウハウを身につけます。講義以外ではレポートや論文の作成を通じて、自身の業務に関する課題の整理や、改善計画の策定など、実務に役立つアウトプットを得ることができます。

さらに、資格認定講座では、長期間に渡り、多くの企業の方々と共に学び、交流を行ないます。そこで得られる様々な情報や企業を超えたネットワーク形成も資格認定講座の魅力の一つとなっています。

詳しくはP7～

テーマ別セミナー

セミナーでは、拠点管理、現場改善、国際業務、提案営業、コスト計算など、特定のテーマについての知識や技法を短期間で学びます。自社や自身が必要とする個別のテーマを選択して学習することができます。特に、さまざまなメニューから適したセミナーを活用することで、企業や、個人が今、抱えている実務での課題の解決に役立ちます。

詳しくはP14～

講演会・見学会 他

講演会や改善事例発表会を通じて、先進企業の取り組みや、現場改善の事例を提供しています。他社の取り組みを学ぶことで、業務の課題解決や、高度化を図るヒントを得ることができます。現場見学会では、さまざまな企業の物流現場の仕組みを学ぶことができます。その他に、特定のテーマや事例についての情報交換や検討を行う研究会を開催しています。

詳しくはP25～

領域区分

企業に求められる人材イメージ

ロジスティクス

目的：需要に応じて、調達、生産、販売、物流や回収・廃棄等の活動を同期化させることで、全体最適を図る。

関係部門：物流管理、ロジスティクス、SCM部門

- 戦略立案能力、問題解決能力、分析力等を有し、自社のロジスティクスにおける問題や課題解決策について、財務の視点から考える。
- 財務諸表を分析し、経営の意思決定に必要な財務上の効果を取り入れたロジスティクス改革を提案する。
- 物流・ロジスティクスの専門家として、社内外の関係者や顧客等の理解を得て、協力しながら部門・企業横断的な全体最適を先導する。

物流管理

目的：輸送、包装、保管、荷役、流通加工等の物流機能を統合的に管理し、効率化、高度化を図る。

関係部門：物流管理部門

- 物流・ロジスティクスに関する専門知識や管理技術を有し、コスト低減や効率化に向けた施策の立案及び推進をする。
- 物流・ロジスティクスの専門家として、顧客ニーズを適切に理解し、分析的な手法から課題を解決に導く。
- 幅広い知識と視点から、新たなサービスを提案する。

物流業務

目的：物流現場において、個々の物流業務の管理及びそれらの業務改善を図る。

関係部門：物流現場部門

- 物流業務に関する専門知識や管理手法を有し、適切な現場運営・管理を行う。
- 物流現場改善に関する専門知識、分析手法、改善技法を有し、実効性のある現場改善案を企画する。
- 問題点や改善効果を定量的に捉え、関係者の理解や協力を得ながら、改善を実行する。

共通（基礎）

関係部門：ロジスティクス、物流管理、物流業務に関連する方、並びに調達、生産、販売部門等の方

- 物流、ロジスティクに係わる用語を適切に理解する。
- 物流、ロジスティクスの基礎知識を有し、ロジスティクス全体の中で、担当業務の役割等を理解する。

JILS からのソリューション提案

資格認定講座	テーマ別セミナー 他	講演会・見学会
<p>ロジスティクス経営士 資格認定講座</p>		<p>【先進企業事例】 ロジスティクス全国大会 ロジスティクス関西大会 中部ロジスティクス講演会 九州ロジスティクス講演会</p>
<p>物流技術管理士 資格認定講座</p>	<p style="text-align: center;">【マネジメント】 物流管理者のためのマネジメント基礎セミナー 輸配送効率化実践セミナー 実践3PL プロバイダーの選定と活用セミナー 物流キーマン育成セミナー</p> <p style="text-align: center;">【在庫管理】 在庫適正化実践セミナー</p> <p style="text-align: center;">【提案営業】 物流提案営業の進め方実践セミナー 利益を出すための提案営業演習セミナー 営業で勝つために効くセミナー</p> <p style="text-align: center;">【コスト管理】 たった一日でよく分かる物流コストセミナー 物流コスト管理・削減実践セミナー 物流ABCによるコストの徹底削減基礎セミナー これができる！ 収支日計</p>	<p>【事例・テーマ研究】 ロジスティクスシステム研究会 関西ロジスティクス研究会 九州ロジスティクス活性化研究会 各種テーマ別研究会</p>
<p>物流現場改善士 資格認定講座</p>	<p style="text-align: center;">【拠点管理】 物流センター長のための物流拠点管理実践セミナー WMS構築セミナー 倉庫の管理・レイアウト改善技術セミナー</p> <p style="text-align: center;">【物流現場改善】 問題発見実践セミナー 物流IE実践セミナー 物流現場改善の進め方 物流小集団活動の進め方 物流現場リーダー育成セミナー トヨタ式物流改善の極意セミナー</p>	<p>【物流現場改善事例】 全日本物流改善事例大会 関西物流改善事例発表会 中部物流改善事例発表会</p> <p style="text-align: center;">【現場見学】 物流テクノロジー現地フォーラム 関西物流テクノロジー現地フォーラム 中部ロジスティクス現地フォーラム 物流現場研究会</p>
<p>物流技術管理士補 スクーリング</p>	<p style="text-align: center;">【物流教育DVD】 正しい荷扱い作業とは 正しい現品管理とは</p>	
<p>ロジスティクス 基礎講座</p>	<p style="text-align: center;">【産業能率大学 通信教育】 物流の仕事がわかる 物流技術を極める ロジスティクス・マネジメントを極める (監修) 日本ロジスティクスシステム協会</p>	

人材育成に関する企業の取り組み例

< A社（物流子会社） >

1) ロジスティクス・物流の課題

- ・荷主事業のグローバル展開加速、特に新興国市場への事業拡大対応
- ・成長事業への集中と選択に対応し、特に注力事業へのロジスティクス展開
- ・更なるロジスティクスコスト削減に向けた高い目標設定
- ・固定費削減とアセットライト

2) 求める人材像

- ・メーカー物流としての「ならでは」を発揮し、荷主グループ各社と連携のもと、SCM視点からロジスティクス・イノベーション活動を実践して、事業競争力向上の一翼を担える人材
- ・事業グループ各社の調達、生産、販売部門等と密接に連携し、事業競争力視点で最適なロジスティクスの設計・提案が行える人材
- ・ロジスティクスの面から荷主事業グループの横串機能を発揮し、ベンチマーク・パートナー戦略に基づく競争力のあるロジスティクス・オペレーションを、スピードを上げて実現できる人材

3) 人材育成の課題

- ・海外現地法人におけるローカル人材の育成・拡大
(権限委譲によるナンバー2クラスの育成と、それに伴う経営の現地化促進)
- ・人材スキル・マップの整備とデータベース化
(対象スキル項目の特定と評価基準の明確化)

4) 人材育成への取り組み状況

- ・教育・研修制度を体系化しており、階層別共通教育とロジスティクススキル専門教育を明確にしている。
- ・ロジスティクス専門育成強化に向け、従来からの各種教育の再定義、狙いの明確化などを図る。
- ・ロジスティクス・物流に関する力量調査（ロジ・スキル調査）を実施し、自社の「強み・弱み」を特定したうえで、教育カリキュラムの見直しなどを実施している。
- ・従業員のスキルレベルの底上げの一環として、ロジスティクス・物流の専門用語の解説をeラーニングで実施している。
- ・JILSの人材育成支援メニューとしては下記を活用
 - ロジスティクス経営士資格認定講座・・・経営幹部教育の一環
 - ロジスティクス基礎講座・・・・・・・・・・ 新入社員教育の一環
 - その他、物流技術管理士資格認定講座や各種セミナー、改善事例発表会を都度活用

< B社（物流子会社） >

1) ロジスティクス・物流の課題

- ・業容拡大
- ・グローバルロジスティクスへの展開

2) 求める人材像

- ・グローバルで通用する物流のプロ

3) 人材育成の課題

- ・管理社員の後継者育成
- ・グローバルロジスティクス要員の育成
- ・管理社員のマネジメント能力強化
- ・若手社員の知識・技術・技能のレベルアップ

4) 人材育成への取り組み状況

- ・物流専門能力、マネジメント能力、知識・技術・技能の3つの分類に基づき、各階層で教育を実施している。
- ・物流専門能力の分類の中に、JILSの物流技術管理士資格認定講座、国際物流管理士資格認定講座を組み込んでいる。
- ・上記講座の資格取得者については、講座で習得した専門的知識・技術をそれぞれの職場・職務で活用し、物流改革・効率化を実現した事例・成果を発表させる社内研修を実施している。
- ・上記の発表事例の中から優秀な事例を選定し、全日本物流改善事例大会に応募している。

ロジスティクスを経営の視点からデザイン ～エグゼクティブのための専門講座～



概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務諸表を分析し、経営の視点からロジスティクス改革を推進する、ロジスティクスのスペシャリストを育成します。 ● 経験豊富な講師陣によるグループ指導を通じて、様々な課題に対応し、解決できる実践力を身につけます。 ● ケーススタディを通じて、ロジスティクスの戦略立案を実践的に学びます。 								
資格取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「ロジスティクス経営士」の資格が授与されます。 								
受講資格	<ul style="list-style-type: none"> ● ロジスティクス関連の実務経験が5年程度ある、部長職クラスまたは部長職候補、ならびに幹部候補の方 ● 物流技術管理士または国際物流管理士の資格取得後、実務を3年以上経験した幹部候補の方 								
期待される到達レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営の視点を常に意識して、考えることができる ● 財務諸表を分析し、企業の課題を発見することができる ● 課題を把握し、優先順位をつけることができる ● 課題解決のための方策を立案することができる ● 課題解決案を他者に説明し、理解を得ることができる ● 自社の業界、自分の立場にとらわれず、自由で柔軟な発想ができる 								
合格基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 資格の合否判定は能力開発委員会 ロジスティクス経営士専門委員会が行い、以下の基準をすべて満たした場合、合格と判定される。 <ol style="list-style-type: none"> ① 講座の修了者であること。 ② 論文試験と面接試験を受験し、その合計点（100点満点）が80点以上であること。 <p>* 配点内訳：論文試験40点／面接試験60点</p>								
講師	<ul style="list-style-type: none"> ● 各専門分野の第一線の学識経験者、実務家、専門コンサルタントなど 								
会期・開催地・定員	<p>6ヵ月間（14日程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第13期 <p>2014年10月～2015年3月 東京（36名）</p>								
受講料 (消費税込：1名につき)	<table> <tr> <td>① 会員</td> <td>432,000円</td> </tr> <tr> <td>② 会員外</td> <td>540,000円</td> </tr> <tr> <td>③ 有資格者優待（会員）</td> <td>378,000円</td> </tr> <tr> <td>④ 有資格者優待（会員外）</td> <td>486,000円</td> </tr> </table>	① 会員	432,000円	② 会員外	540,000円	③ 有資格者優待（会員）	378,000円	④ 有資格者優待（会員外）	486,000円
① 会員	432,000円								
② 会員外	540,000円								
③ 有資格者優待（会員）	378,000円								
④ 有資格者優待（会員外）	486,000円								

プログラム

【第1単元】 ロジスティクスと経営戦略（3日）

1. ロジスティクスと経営戦略
2. 経営戦略から見たSCM
 - 懇親会
3. SCMとベンチマーキング
4. 企業競争力としてのロジスティクス戦略
 - グループ・ミーティング その1
（自社のロジスティクス課題について）
5. 経営情報システムとSCM
6. 先進企業のSCM実践事例
 - ケーススタディ・オリエンテーション その1
（ケーススタディの意義とすすめ方）
 - 論文作成のポイント

【第2単元】 ロジスティクスと経営管理（4日）

1. 財務分析と経営管理指標
2. ロジスティクスと在庫マネジメント
3. ロジスティクスの実践と評価
4. 財務諸表による競合比較
5. ロジスティクスと経営の評価、企業事例
 - ケーススタディ・オリエンテーション その2
（ケーススタディの解き方＝ケーススタディの例題1）
6. ABM (Activity Based Management)
～活動基準原価計算とコストコントロール～

【第3単元】 コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメント（2日）

1. 企業経営とリスクマネジメント
2. コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメントの実践

【第4単元】 ロジスティクスにおける企業間コラボレーション（2日）

1. コーディネータによる講義
2. 発表者による講演
3. 受講者参加によるディスカッション
 - グループ・ミーティング その2
 - ケーススタディ・オリエンテーション その3
（ケーススタディの解き方＝ケーススタディの例題2）

【第5単元】 組織・人事マネジメント（1日）

1. 組織の設計と基本デザイン
2. 人材育成の企業事例＝ロジスティクス人材育成について
 - ケーススタディ・オリエンテーション その4
（ケースの出題、内容説明、取り組み方）

【第6単元】 ロジスティクスと環境（1日）

1. 企業経営と環境問題対応
2. 企業経営と環境対応の事例
3. グループミーティングおよびケースの検討

【第7単元】 グローバリゼーション（1日）

1. ロジスティクスとグローバリゼーション
2. グローバリゼーションの企業事例
 - グループ・ミーティング その3
（自社のロジスティクス課題について）
 - ケーススタディ・オリエンテーション その5
（ケースブックに関する質疑応答）

【第8単元】 ロジスティクスの戦略立案（2日）

- ケーススタディ
（ケースのグループ・ディスカッション、グループ発表）

物流管理者および物流技術者として必要な、物流・ロジスティクスの全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を総合的かつ体系的に学ぶ専門講座

概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流技術管理士資格認定講座は、物流管理者および物流技術者として必要な、物流・ロジスティクスの全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を総合的かつ体系的に学ぶ講座です。 ● 製造業・流通業、物流事業者、物流子会社の方を中心として、例年、約500名の方にご受講いただいております。 								
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「物流技術管理士」の資格が授与されます。								
資格認定規程(抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ● 会期中(21日間)、16日以上出席すること。また、所定の単元を欠席していないこと。 ● 前・後期2回分の受講レポートを提出していること。 ● 客観試験(前・後期に筆記試験を2回実施)、論文試験、面接試験の全てを受験し、それぞれの試験の得点が満点の6割以上であり、かつ、すべての試験の合計点から欠席点と受講レポート遅延の減点を引いた総合点が60点以上であること。 <p>※資格認定規程については、開講式で詳細を説明いたします。ご不明な点は事務局にお問い合わせください。</p>								
受講資格	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流に関する基本的な用語を理解している方 ● 物流実務経験2年程度の方 ● 物流技術管理士補の有資格者 								
講師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント など								
会期・開催地・定員	<p>6～8ヵ月間(21日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第108期 2014年 5月～2014年11月 東京(120名) ● 第109期 2014年 6月～2014年12月 大阪(80名) ● 第110期 2014年 7月～2015年 2月 東京(80名) ● 第111期 2014年 9月～2015年 3月 名古屋(80名) ● 第112期 2014年 9月～2015年 3月 東京(120名) ● 第113期 2014年10月～2015年 3月 大阪(80名) 								
受講料(消費税込:1名につき)	<table> <tr> <td>①会員</td> <td>486,000円</td> </tr> <tr> <td>②会員外</td> <td>594,000円</td> </tr> <tr> <td>③有資格者優待(会員)</td> <td>432,000円</td> </tr> <tr> <td>④有資格者優待(会員外)</td> <td>540,000円</td> </tr> </table>	①会員	486,000円	②会員外	594,000円	③有資格者優待(会員)	432,000円	④有資格者優待(会員外)	540,000円
①会員	486,000円								
②会員外	594,000円								
③有資格者優待(会員)	432,000円								
④有資格者優待(会員外)	540,000円								



プログラム

【プレミーティング】(2日)

問題の発見と解決(グループ演習)

【第1単元】経営とロジスティクス(1日)

1. 企業価値を高めるロジスティクスの役割
2. ロジスティクスにおける顧客サービス
3. ロジスティクス戦略とネットワーク
4. ロジスティクスIT概論

【第2単元】ロジスティクスの社会的役割(1日)

1. 標準化
2. CSR
3. 行政の動向

【第3単元】包装技術(1日)

1. 包装技術概論
2. 包装資材削減の事例

【第4単元】輸配送管理(2日)

1. 輸配送管理概論
2. 輸配送におけるIT活用
3. 輸配送システムの構築(個人演習)

【第5単元】物流拠点管理(2日)

1. 物流拠点管理概論(グループ演習)
2. 保管・荷役とマテハン機器
3. 物流拠点におけるIT活用
4. 生産性と品質管理

【第6単元】科学的管理技法(2日)

1. 科学的管理技法概論
2. 物流現場の改善技法

【第7単元】総合演習①(2日)

物流改善演習(グループ演習)

【第8単元】物流コスト管理(2日)

1. 物流コスト概論
2. 物流ABC
3. 物流コスト計算(個人演習)

【第9単元】在庫管理とSCM(1日)

1. SCMと在庫管理概論
2. 在庫管理の実務
3. SCMの実務

【第10単元】グローバルロジスティクス(1日)

1. グローバルロジスティクス概論
2. 国際物流の基礎
3. 各地域の物流事情
4. グローバルロジスティクスの事例

【第11単元】物流アウトソーシングと3PL(1日)

1. 物流アウトソーシング、3PL
2. 受委託とその契約について

【第12単元】グリーンロジスティクス(1日)

1. グリーンロジスティクス概論
2. 輸配送・物流拠点における環境負荷低減
3. リバースロジスティクス
4. 環境負荷の算定

【第13単元】総合演習②(2日)

総合演習(グループ演習)

3

物流技術管理士補スクーリング

東京 大阪 名古屋

概要	<ul style="list-style-type: none"> ロジスティクス構築による経営革新に向けた計画の立案に取り組んでいただくグループ演習をカリキュラムの中心に据えています。 通信教育や講座、講義で学ばれた知識を計画立案時にどのように活用すればよいか、企業事例をベースとしたグループ演習を通じて実践的に経験していただくことを目的としています。
資格取得	<ul style="list-style-type: none"> 事前に課題レポートをご提出いただいた後、本講座に2日間出席し、修了した方に「物流技術管理士補」の資格が授与されます。
受講資格	<ul style="list-style-type: none"> (学)産業能率大学が実施する所定の通信教育修了者 ロジスティクス基礎講座の修了者 東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者 ※受講前に課題レポートの提出があります。

会期・開催地・定員	2014年7月 (2日間) 大阪 (40名) 2014年8月 (2日間) 東京 (80名) 2014年9月 (2日間) 名古屋 (40名) 2015年2月 (2日間) 東京 (60名)
参加料 (消費税込:1名につき)	74,520円

プログラム

【第1日目】

1. ロジスティクス戦略の最新動向
2. ロジスティクスシステム構築による経営革新 【演習】
 - ・演習問題の説明
 - ・グループ討議

【第2日目】

3. ロジスティクスシステム構築による経営革新 【演習】(前日の続き)
 - ・グループ討議
 - ・討議結果発表/講評
 - ・解説
4. 認定証授与

4

ロジスティクス基礎講座

東京 大阪 名古屋 福岡

概要	<ul style="list-style-type: none"> 物流・ロジスティクスに関わる基礎知識や技法を体系的に学習するための講座です。 ロジスティクスの基本から物流現場のオペレーションまで、わかりやすく解説し、実務に直結するカリキュラムになっています。 受講者の方々に講義内容の理解を深めていただくために、事前課題レポート(前半1回、後半1回)をご提出いただきます。 本講座を修了された方には「修了証」を授与いたします。
修了規定	<ul style="list-style-type: none"> 講座を全日(4日間)出席し、事前課題レポート2回を提出すること。
資格取得	<ul style="list-style-type: none"> 本講座を修了後、当協会が主催する「物流技術管理士補スクーリング」(2日間)を受講され、修了された方には、「物流技術管理士補」の資格を授与いたします。
対象	<ul style="list-style-type: none"> ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当の方。 上記部門以外でロジスティクスの基礎知識を身につけたい方。
講師	<ul style="list-style-type: none"> 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント など
会期・開催地・定員	(4日) <ul style="list-style-type: none"> ●第47期 2014年 4月～2014年 5月 大阪(50名) ●第48期 2014年 5月～2014年 6月 東京(80名) ●第49期 2014年 6月～2014年 7月 名古屋(50名) ●第50期 2014年10月～2014年11月 東京(80名) ●第51期 2015年2月 福岡(40名)
受講料 (消費税込: 1名につき)	①会員 86,400円 ②会員外 102,600円

プログラム

【第1日目】

- I. ロジスティクス概論 (1)
 - 【ロジスティクスの概念(物流との違い)、機能、構造、経営とロジスティクス等】
 - ロジスティクス概論 (2)
 - 【顧客満足と顧客サービス、在庫マネジメント、アウトソーシングと3PL等】
- II. ロジスティクス・オペレーションの基本機能
 - ①包装【包装の概要、機能、目的、管理のポイント、材料・形状、包装における環境対策等】

【第2日目】

- ②輸・配送 (1)
 - 【輸送モードの特徴(トラック、鉄道、海運、航空)、輸送システム構築のポイント等】
- ③輸・配送 (2)
 - 【モーダルシフト、ユニットロードシステム、輸配送における環境対応等】
- ④保管
 - 【保管の概要、倉庫管理のポイント(レイアウト、流通加工など)、保管コスト等】

【第3日目】

- ⑤荷役
 - 【荷役の目的、荷役作業(仕分け、ピッキングなど)、マテハン機器の種類と特徴等】
- ⑥情報システム (1) <情報システムの概要>
 - 【IT・情報システムの基礎(自動認識技術、EDI、インターネット、パッケージ)等】
- ⑦情報システム (2) <業務活用ソフトウェア>
 - 【各物流情報システムの概要と特徴(受発注、在庫管理、倉庫管理、輸配送管理)等】

【第4日目】

- III. 在庫管理
 - 【目的、機能、手法、受発注・生産と在庫】
- IV. ロジスティクスコスト
 - 【ロジスティクスコストとは、コスト管理、Activity Based Costing、サービスレベルとコスト】
- V. ロジスティクスの課題と展望
 - 【社会システム、グローバルネットワーク、環境対応】

国際物流スペシャリストを育成する専門講座



概要	● 国際物流管理士資格認定講座は、国際物流スペシャリストとして必要な専門知識を総合的、体系的に学ぶ講座です。
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「国際物流管理士」の資格が授与されます。
資格認定規程(抜粋)	● 出席に関する規程 講座期間中、14日以上出席すること。単元欠席(ひとつの単元の講義を全日欠席すること)がないこと。 ● 試験に関する規程 客観試験およびレポート試験(5回)をすべて受験し、それぞれの得点が70点以上(100点満点)であること。 レポート試験と客観試験の平均点(100点満点)から、欠席点を引いた得点が70点以上であること。 なお、欠席点は1日につき1点、半日につき0.5点とする。 ※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。
受講資格	● 国際物流関連業務に従事し2年程度の経験を有する方
対象	● 国際物流のスペシャリストを志向する方 ● 国際物流に携わる中堅管理者、担当者
講師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント など
会期・開催地・定員	6ヵ月間(19日) ● 第36期 2014年9月～2015年3月 東京(40名)
受講料(消費税込:1名につき)	①会員 432,000円 ②会員外 540,000円 ③有資格者優待(会員) 378,000円 ④有資格者優待(会員外) 486,000円

プログラム

【第1単元】 国際物流とグローバルロジスティクス(2日)

1. 国際物流概論(国際物流とロジスティクス)
 2. SCMとグローバルロジスティクス
 3. グループ討議
- ◆ キックオフミーティング

【第2単元】 輸出入業務(2日)

1. 輸出入における通関業務と保税手続き、通関システム
2. 輸出入とインコタームズ、ウイーン売買条約
3. 貿易売買契約と各種決済方法、外国為替とリスクヘッジ、国際ファイナンス

【第3単元】 海上輸送(2日)

1. 海上貨物輸送概論
2. 海上個品運送契約/船荷証券/Sea Waybill/複合運送証券
3. NVOCCと国際複合輸送
4. 海上運送における特殊貨物(危険物)概論
5. 国際物流におけるコスト削減に向けた取り組み事例

【第4単元】 航空輸送(1.5日)

1. 航空貨物輸送概論
2. 航空運送約款・航空運送状・航空貨物運賃
3. フォワーダーから見た航空輸送

【物流施設見学】(1日)

【第5単元】 国際物流のリスクマネジメントと保険(1.5日)

1. リスクマネジメント概論
2. 国際物流におけるリスクマネジメントとロスプリベンション
3. 貿易貨物保険とクレームの実務

【第6単元】 世界の最新物流事情(2日)

1. 米国の最新物流事情
2. 欧州の最新物流事情
3. インドの最新物流事情
4. 中国の最新物流事情
5. 東南アジアの最新物流事情

【第7単元】 SCMと3PL(3日)

1. 在庫管理とSCM
2. 3PL概論
3. 3PL企業事例
4. グループ討議

【第8単元】 海外現地における物流構築・改善(2日)

1. 海外現地における人材マネジメント方策
2. 海外現地における品質向上に向けた取り組み
3. 海外現地における物流構築・改善の実際

【第9単元】 ケーススタディ(2日)

1. ケーススタディ「グローバルロジスティクス改革」

● レポート試験(5回…第2、3、4、5、7単元)

● 客観試験

環境負荷低減とコスト削減を推進する 実務リーダーを育成する専門講座



概要	<ul style="list-style-type: none"> ロジスティクス領域における環境問題対応を担う実務リーダーに不可欠な専門知識をご提供します。 グループ討議による環境負荷低減施策の立案など、受講者参加型のプログラムを多く取り入れ、広範にわたる環境負荷低減に向けた課題への解決策を計画、実践、評価できる能力を身に付けます。 								
資格取得	<ul style="list-style-type: none"> 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます。 								
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> 製造業、流通業、物流業のロジスティクス・物流・環境部門のリーダー層の方。 								
期待される到達レベル	<ul style="list-style-type: none"> ロジスティクス領域で環境負荷低減の専門知識を有し、最新動向を把握している。 現状とあるべき姿の間にあるギャップを把握し、課題整理、解決の優先順位をつけることができる。 課題解決のための方策を立案することができる。 課題解決案を社内外の関係者に説明し、理解を得られることができる。 課題解決案を実践し、評価することができる。 								
合格基準	<ul style="list-style-type: none"> 資格の可否判定は能力開発委員会グリーンロジスティクス管理士専門委員会が行い、以下の基準をすべて満たした場合、合格と判定される。 <ol style="list-style-type: none"> ①講座の修了者であること。 ②客観試験の得点（20点満点）が12点以上であること。 ③総合試験の得点（30点満点）が18点以上であること。 ④第4単元のグループ討議①②（各15点満点）の合計得点が18点以上であること。 ⑤自社の取り組みに関する計画立案のレポートを提出し、その得点（20点満点）が12点以上であること。 								
講師	<ul style="list-style-type: none"> 各専門分野の実務家、専門コンサルタント など 								
受講料 (消費税込： 1名につき)	<table> <tr> <td>①会員</td> <td>254,880円</td> </tr> <tr> <td>②会員外</td> <td>302,400円</td> </tr> <tr> <td>③有資格者優待（会員）</td> <td>217,080円</td> </tr> <tr> <td>④有資格者優待（会員外）</td> <td>264,600円</td> </tr> </table> <p>有資格対象：物流技術管理士、国際物流管理士、物流現場改善士、グリーン物流基礎コース修了者</p>	①会員	254,880円	②会員外	302,400円	③有資格者優待（会員）	217,080円	④有資格者優待（会員外）	264,600円
①会員	254,880円								
②会員外	302,400円								
③有資格者優待（会員）	217,080円								
④有資格者優待（会員外）	264,600円								

プログラム

【第1単元】 ロジスティクス環境経営計画と推進（1日）

1. 地球環境とグリーンロジスティクス
2. 循環型社会ロジスティクスのあり方
3. 環境コストマネジメント

【第2単元】 環境関連法制度・環境経営マネジメント（2日）

1. 経営指標に関する基本知識
2. PDCA マネジメントサイクルの回し方
3. 企業における環境経営と環境部門の果たすべき役割（事例）
4. 環境基本法制度の概要とその遵守に向けた取り組み
5. 省エネルギー法について

【第3単元】 環境負荷の算定方法（1日）

1. 二酸化炭素排出量算定の意義と考え方
2. 算定の演習と課題
3. 環境負荷の算定、削減に向けた取り組み（事例）

【第4単元】 環境負荷低減施策案作成実践演習（5日）

1. 輸配送に関わる二酸化炭素削減方策 基本知識
2. グループ討議①
輸配送に関わる二酸化炭素削減施策案作成演習
3. 梱包・包装資材に関わる環境負荷低減方策 基本知識
4. グループ討議②
梱包・包装資材に関わる環境負荷低減施策案作成演習
5. リバースロジスティクスに関わる環境負荷低減の基本知識
6. リバースロジスティクスの事例
7. 物流センターにおける省エネ・環境取り組みの事例紹介

【第5単元】 総合試験・現地見学・レポート指導（2日）

1. 現地見学
2. レポート指導

【ご注意】

本プログラムにつきましては、現在、内容等を全面的に見直しており、新プログラムを2014年夏頃に開講する予定です。
詳細が決まり次第、当協会ホームページ等でご紹介いたします。

物流現場改善をデータで議論、数値で管理し、改善を実践する 物流現場改善リーダー育成のための専門講座

概要	<ul style="list-style-type: none"> ● グループディスカッション、演習を多く取り入れ、理論・知識を実務で・活用するための実践力を身に付けます。 ● 実際の企業の物流現場をモデルにしたケーススタディに取り組みます。 ● 講座の成果として受講者の担当職場の改善実行計画が完成します。
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「物流現場改善士」の資格が授与されます。
受講対象	● 製造業・流通業、物流業（運送事業者・倉庫業者等）の物流現場改善のリーダーとリーダー候補で物流に関する基本的な用語を理解している方を対象とする。
期待される到達レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流業務における問題点を常に意識し、問題点を把握することができる。 ● 把握された問題点を、各種の分析手法を用い分析し、課題を抽出することができる。 ● 抽出された課題に優先順位をつけ、課題解決のための方策を立案することができる。 ● 課題解決案を社内外の関係者に説明し、理解を得、実行することができる。 ● 実行した課題解決の結果を評価できる。
合格基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 資格の合否判定は能力開発委員会 物流現場改善士専門委員会が行い、以下の基準を満たした場合、合格と判定される。 ● 講座の修了者であること。 ● 下記4つのレポート試験のすべてを受験し、改善実行計画レポート-2の点数（100点満点）から欠席の減点をした総合点が60点以上であること。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「問題発見レポート」 ② 「改善企画レポート」 ③ 「改善実行計画レポート-1」 ④ 「改善実行計画レポート-2」
講師	● 各専門分野の第一線の学識経験者、実務家、専門コンサルタント など
会期・開催地・定員	5ヵ月間（10日） ● 第5期 2014年6月～2015年1月 東京（68名）
受講料 (消費税込：1名につき)	①会員 237,600円 ②会員外 345,600円

プログラム

【第1単元】 物流現場改善概論

1. 物流現場業務改善概論

【第2単元】 現状把握力の強化

1. 問題発見の基礎
2. 問題発見のヒント

【第3単元】 改善企画力の強化

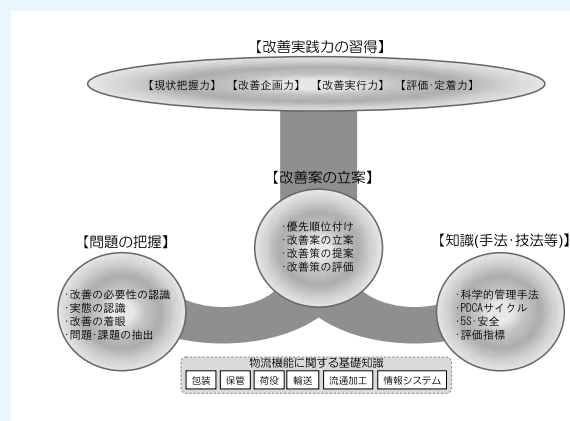
1. 振り返り演習-1
2. 物流コスト分析
3. 科学的管理手法の習得< QC・新QC >
4. 科学的管理手法の習得< IE >

【第4単元】 改善実行力・評価・定着力の強化

1. 振り返り演習-2
2. 改善実行の推進について
3. 物流現場改善の評価・定着・横展開
4. 物流評価指標・KPI
5. ケースの出題・説明

【第5単元】 物流現場改善立案：ケーススタディ

1. 振り返り演習-3
2. ケーススタディのグループディスカッション
3. グループごとの提案書発表
4. 講評とまとめ



物流現場改善士資格取得者に授与されるバッジ

8

物流教育 DVD【正しい荷扱い作業とは】



- プロローグ
 - 手扱い（ハンドリング）
 - フォークリフト
 - 正しい荷扱いを助ける表示（ケアマーク）
 - 入庫・保管・出庫作業
 - エピローグ
- ◆ 日本語版／英語版ナレーション付
 - ◆ 収録時間 約25分
 - ◆ 価格（送料別、消費税抜き）
1本 10,000円
- *別途、送料実費をご請求いたします。
(国内通常配送、1本の場合：350円)

9

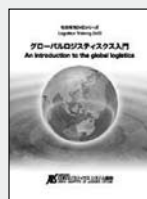
物流教育 DVD【正しい現品管理とは】



- プロローグ
 - 現品管理が悪いと
 - 現品管理のまずさの要因
 - 現品（物）の扱いの改善
 - ミスのない現品取り扱いのアイデア
 - 事務処理の改善
 - 例外処理のルール化
 - 現品棚卸の正確性向上
 - 教育訓練と評価
 - エピローグ
- ◆ 日本語版／英語版ナレーション付
 - ◆ 収録時間 約25分
 - ◆ 価格（送料別、消費税抜き）
1本 10,000円
- *別途、送料実費をご請求いたします。
(国内通常配送、1本の場合：350円)

10

物流教育 DVD【グローバルロジスティクス入門】



- プロローグ
 - 生産・流通の変化とグローバル化
 - 物流管理
 - 国際物流
 - エピローグ
- ◆ 日本語版／英語版ナレーション付
 - ◆ 収録時間 約40分
 - ◆ 価格（送料別、消費税抜き）
1本 20,000円
- *別途、送料実費をご請求いたします。
(国内通常配送、1本の場合：350円)

11

物流教育 DVD【グリーンロジスティクスの基礎と実践】



- プロローグ
 - グリーンロジスティクス概要
 - 低炭素型社会の課題と対策
 - 循環型社会の課題と対策
 - 貨物輸送分野における環境負荷の削減方法
 - 循環型社会形成方策、3 R
 - エピローグ
- ◆ 日本語版
 - ◆ 収録時間 約40分
 - ◆ 価格（送料・消費税抜き）
1本 20,000円
- *別途、送料実費をご請求いたします。
(国内通常配送、1本の場合：350円)

DVDはJILSホームページからお申し込みいただけます。

トップ

調査・統計
機関誌・出版物

書籍・
教育DVD

※当協会のホームページは、www.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

- 8～10は英語ナレーションもついていますので、海外現地法人での人材教育などにもご活用いただけます。

※リージョンフリーですので、DVDプレーヤの地域設定に関わらず利用できます。

※DVDをテレビに出力する場合には、NTSC方式（日・米等）のテレビをご利用ください。

なお、パソコンで出力する場合には信号方式による影響はありません。

※物流教育DVDの価格は消費税抜きでの記載をしております。

税込み価格はご注文時期により異なりますので、別途お問い合わせください。

2014年度 開催予定セミナー 一覧

東京開催

NO.	セミナー名	2014年										2015年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
12	実践サードパーティーロジスティクス プロバイダーの選定と活用セミナー	●												
13	物流キーマン育成セミナー		●											
15	営業で勝つために効くセミナー			●										
16	物流ABCによるコストの徹底削減基礎セミナー			●										
19	新任担当者のための国際物流基礎セミナー				●									●
17	「物流提案営業の進め方」実践セミナー				●									
18	利益を出すための提案営業演習セミナー					●								
20	物流IE実践セミナー					●								
24	輸配送効率化実践セミナー								●					
25	「しってるをしてるに!! トヨタ式物流改善の極意」セミナー								●					
26	これでできる! 収支日計									●				
27	WMS (倉庫管理システム) 構築セミナー										●			
28	物流コスト管理・削減実践セミナー											●		
29	在庫適正化実践セミナー											●		
30	物流現場リーダー育成セミナー											●		
31	物流センター長のための物流拠点管理実践セミナー												●	
32	「問題発見」実践セミナー													●

12 実践サードパーティーロジスティクス プロバイダーの選定と活用セミナー 戦略

概 要	● 3PL プロジェクトを確実に成功に導くための重要なポイントについて学びます。	
対 象	● 製造業、流通業の物流・ロジスティクス部門の管理者の方 ● 物流子会社、物流事業者の3PL関連部門の方	
会 期	● 2014年4月	
開 催 地	● 東京	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会 員 外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. なぜ3PLか
2. ロジスティクスとSCM
3. 米国3PLの誕生と発展
4. 3PL利用の目的と効果
5. 3PLプロバイダー選択の流れ
6. 提案要望書 (RFP) の作成
7. 3PLプロバイダーの選択
8. 稼働 (移行) までの活動
9. 契約書
10. 移行と稼働後の活動

大阪開催

NO.	セミナー名	2014年										2015年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
14	物流管理者のためのマネジメント基礎セミナー		●											
13	物流キーマン育成セミナー			●										
16	物流ABCによるコストの徹底削減基礎セミナー			●										
17	「物流提案営業の進め方」実践セミナー			●										
18	利益を出すための提案営業演習セミナー				●									
21	たった一日でよく判る物流コストセミナー							●						
22	物流現場改善の進め方							●						
23	物流小集団活動の進め方								●					
24	輸配送効率化実践セミナー								●					
25	「しってるをしてるに!! トヨタ式物流改善の極意」セミナー									●				
26	これでできる! 収支日計									●				
30	物流現場リーダー育成セミナー											●		
33	倉庫の管理・レイアウト改善技術セミナー													●

名古屋開催

NO.	セミナー名	2014年										2015年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
24	輸配送効率化実践セミナー									●				
31	物流センター長のための物流拠点管理実践セミナー												●	

13 物流キーマン育成セミナー

管理

概要	● 物流全体を俯瞰しマネジメントするための要点と、物流アウトソーシングによる外部委託先の管理手法等を講義とケーススタディで学びます。
対象	● 製造業、流通業、物流業の中堅社員、将来の管理職候補
開催地・会期	① 東京 2014年5月 (2日間) ② 大阪 2014年6月 (2日間)
定員	● 30名
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき) 64,800円 ② 会員外 (1名につき) 86,400円

プログラム

1. 物流管理の実態、課題
2. 物流マネジメントの実現
3. 物流アウトソーシングの高度化
4. ケーススタディ
5. 総評

概要	● 現場管理者にとって必要な計画策定から物流遂行までのマネジメントスキルについて、講義・演習を通じて学びます。	
対象	● 物流現場を監督・管理する新任の部長・課長・センター長・マネジャー ● 上記以外で物流現場におけるマネジメントの基礎を身につけたい方	
会期	● 2014年5月	
開催地	● 大阪	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 企業経営とロジスティクス戦略
2. 物流サービスと顧客満足
3. 在庫管理
4. 3PLとアウトソーシング
5. 現場力の強化
6. 現場におけるCSRとコンプライアンス

概要	● 荷主企業の物流ニーズを的確に把握し、自社の物流サービスとその優位性を理解した上で荷主企業に効果的なアプローチを行うための方法を具体的な事例を交えながらわかりやすく解説いたします。	
対象	● 物流子会社、物流事業者の営業部門、企画部門の方	
会期	● 2014年6月	
開催地	● 東京	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円
参加特典	● 『すぐに使える提案書作成の基本フレーム』を進呈	

プログラム

1. 荷主の物流ニーズの現状
2. 物流業界におけるマーケティング手法
3. 営業で勝つために準備すべき事項
 - 営業戦略編
 - ソール編
 - ネットワーク編
4. 勝つための提案営業の基本
 - 営業先の見つけ方 (ターゲットセグメント)
 - 提案アプローチと事前準備
 - 他社と違う提案書作成のポイント
 - プレゼンテーションの6箇条

概要	● 物流ABCの具体的な算定方法や分析・活用方法について講義と演習を通じて学びます。	
対象	● 物流センターの管理者 ● 物流コスト管理担当者	
開催地・ 会期	① 東京 2014年6月 ② 大阪 2014年6月	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流ABCが物流管理を変える
2. 物流ABC早わかり入門
3. 物流ABC計算のステップ
4. 物流ABC算定演習
5. 物流ABCによる作業改善事例
6. 「採算を考えない顧客サービスの是正」への挑戦事例
7. 物流事業者における物流ABC活用事例

概要	● 提案営業による新規顧客開拓の事例、提案営業に必要な手法、企画書の評価や内容の検証方法等について学びます。	
対象	● 物流子会社、物流事業者の営業部門、企画部門の方	
開催地・会期	① 大阪 2014年6月 ② 東京 2014年7月	
定員	● 30名	
参加料(消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流提案営業の基本
2. 提案型営業の進め方 ～ステップ別解説～
ステップ1：マーケティングフェーズ
ステップ2：提案フェーズ
(演習：ヒアリングシートの作成)
ステップ3：実行フェーズ
3. 提案書作成とプレゼンテーション
 - ① いい提案書の条件・提案書の種類
 - ② 実際の提案書による事例研究
 - ③ 提案書作成とプレゼンテーションのポイント
4. まとめ

概要	● 物流事業者が提案営業を成功させるためのポイントについて、講義・演習を通じて学びます。	
対象	● 物流子会社、物流事業者の営業部門、企画部門の方	
開催地・会期	① 大阪 2014年7月 ② 東京 2014年8月	
定員	● 30名	
参加料(消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円
参加特典	● 『すぐに使える提案書作成の基本フレーム』を進呈	

プログラム

1. 真の顧客（荷主）ニーズとは
 - ① 聞いてきたのは、荷主の本当のニーズか？
 - ② 利益の出せる受注を取るポイント
 - ③ 荷主の真のニーズはどこにあるのか？
2. 物流提案営業のアプローチ
 - ① 受注が取れる担当者、企業の要件
 - ② 役職別、タイプ別の攻略方法
 - ③ 業務調査から提案までの手順と内容
3. グループ演習
 - ① 提案書の作成
 - ② プレゼンテーション [物流事業者と荷主の立場で]
4. まとめ

概要	● 初めて国際物流に携わる方々を対象に、国際物流の基礎を体系的に学びます。	
対象	● 国際物流、貿易関連部門の新入社員、新任担当者の方 ● 上記部門以外で国際物流の基礎知識を身につけたい方	
会期	① 2014年7月 (2日間) ② 2015年3月 (2日間)	
開催地	● 東京	
定員	● 30名	
参加料(消費税込)	① 会員 (1名につき)	64,800円
	② 会員外 (1名につき)	86,400円

プログラム

<1日目>

1. 国際物流概論
 - 1) 国際物流の基礎知識
 - 2) ロジスティクスとサプライチェーンマネジメント
2. 貿易実務の基礎
 - 1) 貿易取引の概要
 - 2) 取引交渉から契約の流れ
 - 3) インコタームズ2010

<2日目>

3. 貿易実務の各業務
 - 1) 海上輸送
 - 2) 航空輸送、複合一貫輸送
 - 3) 貿易の枠組みと通関
 - 4) 決済の仕組み
 - 5) 船積み書類
 - 6) 保険業務

概要	● 物流センターや工場内における物流作業を対象に、IEアプローチを用いた改善の実践手法を学びます。	
対象	● 物流部門リーダー ● 物流センター長 ● 物流企画・運営・改善スタッフ ● 生産管理スタッフ	
会期	● 2014年8月（2日間）	
開催地	● 東京	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員（1名につき）	64,800円
	② 会員外（1名につき）	86,400円

プログラム

<1日目>

1. 物流IEとは
 - 物流を改革するインダストリアル・エンジニアリング
2. 物流作業を定量化する
 - 物流作業の標準時間をいかに設定するか
3. 標準時間の適用事例を学ぶ
 - 作業計画管理と作業料金設定

<2日目> グループ演習

4. 現状の作業人員ははたして適正か
 - VTRを見て作業分析、改善案検討、改善案発表
5. 物流ABC（活動基準原価計算）のための作業分析
 - 物流センター作業の物流ABC
 - アクティビティ、オペレーションの分類
 - 発表、講評

概要	● 一日で物流コスト構造から、見える化、物流KPIの設定、適切な物流コスト削減の着眼点までを判りやすく解説します。	
対象	● 製造業、流通業の物流部門および物流企業の管理者、スタッフの方々	
会期	● 2014年9月	
開催地	● 大阪	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員（1名につき）	37,800円
	② 会員外（1名につき）	54,000円

プログラム

1. 物流コストの基礎知識
2. 物流コスト管理の実際
3. 物流コスト算定（演習）
4. 物流コスト削減の着眼点
5. これからの物流コスト管理

概要	● 物流現場における初歩的な管理項目や改善基礎知識、分析手法を学びます。	
対象	● 新任の物流部門・物流センター管理の実務担当者の方	
会期	● 2014年9月	
開催地	● 大阪	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員（1名につき）	37,800円
	② 会員外（1名につき）	54,000円

プログラム

1. 物流現場管理の基礎
2. 問題・課題を正しく捉える
3. 問題点を明らかにする分析手法（演習）
4. 物流現場の改善手法
5. 物流品質の考え方
6. 物流業務改善の体系的な進め方

概要	● 物流作業現場の業務改善や生産性向上の小集団活動による推進方法、小集団活動を実践するための効果的な運営体制や制度等の展開方法等について学びます。	
対象	● 物流現場における主任・リーダー、また、その候補 ● 物流現場業務の改善担当者	
会期	● 2014年10月	
開催地	● 大阪	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 経営方針と小集団活動
2. なぜ小集団活動が必要か
3. 小集団活動を進める際のポイント
4. 小集団活動でよく使う改善手法
5. 小集団活動の進め方
6. まとめ

概要	● 輸配送業務における生産性の向上とコスト削減を推進するための業務改善ステップや組織連携のアプローチなどについて事例を交えて解説します。	
対象	● 製造業・流通業および物流管理会社、物流事業者の輸配送・配車管理者の方	
開催地・会期	① 東京 2014年10月 ② 大阪 2014年10月 ③ 名古屋 2014年11月	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 輸配送の基本
2. 輸配送のムダを把握する
3. 輸配送コストを見える化する
4. 輸配送コストを下げる
5. 効率のよい輸配送を目指す
6. 輸配送のコストダウン成功事例

概要	● トヨタ式物流改善の手法を実演などを通じ、解説します。	
対象	● 製造業、流通業および物流管理会社、3PL、物流企業の管理者および改善推進リーダー担当の方々	
開催地・会期	① 東京 2014年10月 ② 大阪 2014年11月	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 開講にあたって
2. 「カイゼン」とは
3. 物流とロジスティクス
4. TPS
5. 物流人材の育成
6. KPI (主要管理指標)
7. その他

概要	● 車両、ドライバー、または物流センターごとに日別の収支管理を行う「収支日計」の取り組み方法について解説します。	
対象	● 物流事業者、物流子会社、3PL会社の配車管理者や物流管理部門の方	
開催地・会期	① 東京 2014年11月 ② 大阪 2014年11月	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流企業の経営状況
2. 「収支日計」の導入実態
3. 「収支日計」運用のポイント
4. 「収支日計」の本当の目的
5. 収益アップへのアプローチ具体策
6. 物流センターの収支日計
7. 「収支日計表作成の基礎設計」(演習)

概要	● WMSの設計と導入、定着化までの一連のプロセスについて学びます。	
対象	● 物流情報システム部門の管理者、担当者	
会期	● 2015年1月	
開催地	● 東京	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流業務の効率化とそれを支えるIT
2. 物流センター設計の手順とシステム構築の基本
3. WMSの機能
4. WMSのプラットフォームと周辺機器
5. 自動化設備とのインターフェイス
6. 投資と採算
7. WMSの移行と移行計画
8. 実行系IT構築のポイント

概要	● 物流コスト管理システムの作成・分析、コスト削減の着眼点・方法等について、講義と演習を通じて学びます。	
対象	● 製造業、流通業の物流部門及び物流事業者・物流子会社の管理者、コスト管理担当者	
会期	● 2015年2月 (2日間)	
開催地	● 東京	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	64,800円
	② 会員外 (1名につき)	86,400円

プログラム

1. 物流コストの基礎知識
2. 物流コスト管理システムの作り方
3. 物流コスト予算実績差異分析の仕方
4. トラック運送の原価計算
5. 物流ABCを用いた物流センターのコスト管理
6. 物流コスト管理と削減の事例
7. 総合グループ演習「製造業の物流コストダウン戦略の策定」

概要	● 製造業や流通業等の荷主企業における在庫のあり方やその適正化に向けたポイントについて、講義と演習を交えて学びます。	
対象	● 製造業、流通業等の荷主企業におけるSCM、ロジスティクス、物流部門の係長、担当者の方 ● 物流子会社、物流事業者の方で、荷主企業の在庫管理に関心のある方	
会期	● 2015年2月	
定員	● 30名	
開催地	● 東京	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 企業における在庫
2. 在庫適正化へのアプローチ
3. グループ演習
 - ・在庫・出荷実績データ等に基づく問題点の整理と改善・改革の方向性を検討するグループ演習を予定しています。
4. 事例紹介
5. まとめ

概要	● 物流センターにおけるコスト管理手法や、物流現場改善のスキルを学び、ケーススタディで改善実践力を鍛えます。	
対象	● 製造業、流通業、物流業における物流センターの現場リーダー、リーダー候補の方々	
開催地・会期	① 東京 2015年2月 (2日間) ② 大阪 2015年2月 (2日間)	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	64,800円
	② 会員外 (1名につき)	86,400円

プログラム

1. 物流現場リーダーに必要な資質
2. 物流コスト構造化
3. 物流現場改善の基礎① 問題の把握
4. 物流現場改善の基礎② 現状分析手法
5. ケースを通じた改善アイデア検討
6. 現場をコントロールするマネジメントの実践

概要	● 品質・生産性の管理や人員管理等物流センター長にとって必要な拠点管理に関する知識や技術、様々なノウハウを講義や演習を通して学びます。	
対象	● 荷主企業、物流子会社、物流企業における物流拠点の管理者、監督者、グループリーダーおよび拠点管理部門の責任者、オペレーションマネージャーなど	
開催地・会期	① 名古屋 2015年2月 ② 東京 2015年3月	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. はじめに
2. センター長の役割と強い物流現場の創り方
3. 物流サービス品質の定義と業界トップ水準への改善の進め方
4. 物流コストダウン、生産性向上の進め方と改善技法
5. まとめ (強い現場力はセンター長のリーダーシップから)

概要	● 物流現場改善の第一歩となる「気付き・問題点の把握」に焦点を当て、「問題発見の着眼点」「問題の抽出」について、事例と演習を交えながら解説します。	
対象	● 製造業、物流企業（運送事業者・倉庫業者等）の物流現場改善のリーダーとリーダー候補	
会期	● 2015年3月	
開催地	● 東京	
定員	● 30名	
参加料 (消費税込)	① 会員（1名につき）	37,800円
	② 会員外（1名につき）	54,000円

プログラム

1. 物流現場とはどんな場所？
2. ロジスティクスの理解と物流現場の関係
3. 物流現場の現状把握
4. 問題発見能力とは何か？
5. 問題発見の着眼点
6. 実例による改善演習

概要	● 倉庫管理の基礎管理技術から合理化・効率化・自動化・省力化を図るためのノウハウまで、管理・改善の実践力を習得します。	
対象	● 物流企画・運営スタッフ ● 庫内業務改善担当者 ● 物流センター長	
会期	● 2015年3月（2日間）	
開催地	● 大阪	
参加料 (消費税込)	① 会員（1名につき）	64,800円
	② 会員外（1名につき）	86,400円
参加特典	● テキストデータなど講習に使用した各種資料の電子データをCD-ROMにて参加者全員に配布いたします。	

プログラム

- PART-1 基礎編
- ① 新しい時代の倉庫の役割
 - ② 倉庫管理の基礎管理技術
 - ③ 倉庫の基本的な条件の整備の仕方
- PART-2 倉庫レイアウト・設備の合理化
- ① 倉庫レイアウト・設備の合理化
 - ② 倉庫レイアウトと建物
 - ③ 倉庫の荷役、運搬、保管設備について
 - ④ 現品管理
- PART-3 現場改善手法
- ① 倉庫の運営の欠点や問題点の抽出
チェック・リストと改善対策
 - ② 省力化と自動化の着眼点について
 - ③ 設備の合理化と採算計画
 - ④ 在庫管理の考え方

34 社内教育

当協会では公開制の各種講座やセミナーを開催するとともに、各企業オリジナルのオーダーメイドの社内教育を実施しております。

<社内教育のメリット>

- 完全オーダーメイドの教育プログラム・教材をご提供いたしますので、貴社の教育ニーズ・レベルに合わせた内容となります。
- 日数、開催日、会場など、貴社のご都合に合わせた調整が可能です。
- 貴社に在籍する資格取得者を活用した、各種講座と連携した中・長期的な人材育成についても、ご相談させていただきます。

<社内教育の流れ>

- | | |
|--------------|---|
| 1.お問い合わせ・ご相談 | 貴社の人材育成に関する悩み事、人材育成ニーズ等について、お聞かせください。 |
| 2.教育プログラムの提示 | 貴社のニーズに応じた教育プログラムをご提示いたします。
※貴社の関係者をご納得いただくまで、内容の調整をいたします。 |
| 3.テキストの作成 | 貴社向け教育プログラムに対応したテキストを作成いたします。 |
| 4.教育プログラムの実施 | 専門講師による、講義を実施いたします。 |
| 5.フォローアップの実施 | 実施プログラムの評価、次回への提案等をさせていただきます。 |

<社内教育メニュー>

以下に示すのは一例ですので、詳細は当協会 人材教育部宛にお問い合わせください。

分 類	コ ー ス 名 (例)
階層別教育コース	経営幹部コース／管理・監督者レベルアップコース／物流管理実践力強化コース／新入社員基礎コース 等
テーマ別教育コース 【基礎】	ロジスティクスシステム／国際物流／物流コスト管理／営業力強化／物流現場改善／グリーン物流 等
テーマ別教育コース 【実践】	物流提案営業／輸配送システム効率化／倉庫管理／在庫管理／物流安全衛生／環境負荷低減施策 等

35 コンサルティング

- ロジスティクスに精通したコンサルタントとの協業により、ロジスティクスに関する戦略立案・効率化・コストダウン・情報化など、ロジスティクスにおける経営革新を支援いたします。

36 通信教育

(監修) 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

- 詳細につきましては、各実施機関のホームページをご覧ください。

実施機関	コ ー ス 名	対 象 者	期間
学校法人 産業能率大学	物流の仕事がわかる	初めて物流の仕事に携わる方、物流の基本を再確認・強化したい中堅クラスの担当の方、物流の知識を必要とする他業界・他部門の担当の方	2ヵ月
	物流技術を極める	物流管理部門の担当者、物流業の中堅～管理・監督者、その他企業の管理、監督者	2ヵ月
	ロジスティクス・マネジメントを極める	物流業をはじめとする企業の管理・監督者、経営企画、システム構築などに携わる方	2ヵ月

人材育成のための支援ツール（手引書・診断ツール）

当協会のホームページより各種支援ツールをご活用ください。

37		<p>物流現場改善推進のための手引書 [改訂版]</p> <p>※タイ荷主協会が翻訳した「タイ語版」も当協会ホームページに掲載しております。</p> <p>http://www.logistics.or.jp/education/support.html</p>
38		<p>物流現場で働く中堅管理者(現場主任・リーダー)育成の手引き</p> <p>http://www.logistics.or.jp/education/support.html</p>
39		<p>グリーンロジスティクスガイド</p> <p>http://www.logistics.or.jp/green/report/08greenguide_00.html</p>
40		<p>グリーン物流ってなんだろう？</p> <p>http://www.logistics.or.jp/green/info/info.html</p>
41		<p>ロジスティクス評価指標の概要 —荷主KPI—</p> <p>http://www.logistics.or.jp/data/survey/kpi.html</p>
42		<p>物流コスト調査 調査結果概要</p> <p>http://www.logistics.or.jp/data/survey/cost.html</p>
43		<p>物流システム機器生産出荷統計 概要版</p> <p>http://www.logistics.or.jp/data/survey/manufacture.html</p>
44		<p>キャリアアップ診断・チェックリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流現場改善リーダーキャリアアップ診断 ・問題発見チェックリスト ・現場活性サイクルチェックリスト ・グリーンロジスティクスチェックリスト <p>http://www.logistics.or.jp/education/checklist.html</p>

先進事例から学ぶ

*45～48は、有資格者優待の対象です。

45	<h3>ロジスティクス全国大会 2014</h3> <p style="text-align: right;">東京</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年10月 (2日間)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 東京</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ①36,720円 (会員) ②60,480円 (会員外) ③29,376円 (有資格者優待)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年10月 (2日間)	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ①36,720円 (会員) ②60,480円 (会員外) ③29,376円 (有資格者優待)	<p>経営マネジメントの視点から、グローバル、環境、コンプライアンス、人材育成など必須テーマのもとにロジスティクス高度化に向けた取組事例が発表されます。毎年全国からロジスティクス関係者が一堂に集い、活発な交流が行われます。</p>
開催時期	● 2014年10月 (2日間)							
開催場所	● 東京							
参加料 (消費税込)	● ①36,720円 (会員) ②60,480円 (会員外) ③29,376円 (有資格者優待)							
46	<h3>ロジスティクス関西大会 2015</h3> <p style="text-align: right;">大阪</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2015年2月 (2日間)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 大阪</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ①33,480円 (会員) ②56,160円 (会員外) ③25,920円 (有資格者優待)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2015年2月 (2日間)	開催場所	● 大阪	参加料 (消費税込)	● ①33,480円 (会員) ②56,160円 (会員外) ③25,920円 (有資格者優待)	<p>ロジスティクスを通じて、グローバル競争に対応する経営戦略を啓発し、最新の革新動向について情報発信するとともに、参加者相互の情報交流を通して、新世紀のロジスティクスのあり方を検討します。</p>
開催時期	● 2015年2月 (2日間)							
開催場所	● 大阪							
参加料 (消費税込)	● ①33,480円 (会員) ②56,160円 (会員外) ③25,920円 (有資格者優待)							
47	<h3>中部ロジスティクス講演会 2014</h3> <p style="text-align: right;">名古屋</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年10月 (1日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 名古屋</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年10月 (1日)	開催場所	● 名古屋	参加料 (消費税込)	● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)	<p>中部地域のロジスティクス関係者が一堂に集い、講演や懇親会を通じて、ロジスティクスの視点からの経営戦略や最新の革新動向に関する活発な情報交流を行います。</p>
開催時期	● 2014年10月 (1日)							
開催場所	● 名古屋							
参加料 (消費税込)	● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)							
48	<h3>九州ロジスティクス講演会 2014</h3> <p style="text-align: right;">福岡</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年10月 (1日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 福岡</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年10月 (1日)	開催場所	● 福岡	参加料 (消費税込)	● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)	<p>九州地域のSCM・ロジスティクス関係者が一堂に集い、ロジスティクスの視点から経営戦略や最新の動向に関する活発な情報交換を行います。</p>
開催時期	● 2014年10月 (1日)							
開催場所	● 福岡							
参加料 (消費税込)	● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)							
49	<h3>テーマ別研究会</h3> <p style="text-align: right;">東京 大阪 名古屋 福岡</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年5月～2015年3月</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 東京、大阪、名古屋、福岡</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ①5,400円～16,200円 (会員) 1回あたり ②10,800円～32,400円 (会員外) 1回あたり * 会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年5月～2015年3月	開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡	参加料 (消費税込)	● ①5,400円～16,200円 (会員) 1回あたり ②10,800円～32,400円 (会員外) 1回あたり * 会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。	<p>最新の行政動向、物流コスト調査等の研究成果や優れた企業事例等を紹介する。ロジスティクス・SCMの動向を把握し、課題解決のヒントを見つけ出す。</p>
開催時期	● 2014年5月～2015年3月							
開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡							
参加料 (消費税込)	● ①5,400円～16,200円 (会員) 1回あたり ②10,800円～32,400円 (会員外) 1回あたり * 会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。							
50	<h3>ロジスティクス環境フォーラム</h3> <p style="text-align: right;">東京</p> <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年7月～2015年3月</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 東京 期間中6回</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ①64,800円 (会員) ②93,960円 (会員外)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年7月～2015年3月	開催場所	● 東京 期間中6回	参加料 (消費税込)	● ①64,800円 (会員) ②93,960円 (会員外)	<p>グリーンロジスティクスに係る産業界の動静や行政の施策、新しいビジネスモデルやコンセプト、技術開発動向など、最新の話題や企業各社における取り組み・先進事例等の紹介を通じて、メンバー各社における「環境負荷の低減」「グリーンロジスティクスの推進」を支援します。</p>
開催時期	● 2014年7月～2015年3月							
開催場所	● 東京 期間中6回							
参加料 (消費税込)	● ①64,800円 (会員) ②93,960円 (会員外)							

51	ロジスティクスシステム研究会 (年間登録制)	東京					
	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年5月～2015年3月 (全10回)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 東京</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ① 75,600円 (会員) 1名あたり ② 98,280円 (会員外) 1名あたり</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年5月～2015年3月 (全10回)	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ① 75,600円 (会員) 1名あたり ② 98,280円 (会員外) 1名あたり
開催時期	● 2014年5月～2015年3月 (全10回)						
開催場所	● 東京						
参加料 (消費税込)	● ① 75,600円 (会員) 1名あたり ② 98,280円 (会員外) 1名あたり						
52	食品ロジスティクス研究会 (年間登録制)	東京					
	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年5月～2015年3月 (全10回)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 東京</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ① 100,000円 (会員) 1名あたり ② 130,000円 (会員外) 1名あたり</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年5月～2015年3月 (全10回)	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ① 100,000円 (会員) 1名あたり ② 130,000円 (会員外) 1名あたり
開催時期	● 2014年5月～2015年3月 (全10回)						
開催場所	● 東京						
参加料 (消費税込)	● ① 100,000円 (会員) 1名あたり ② 130,000円 (会員外) 1名あたり						
53	物流子会社懇話会 (年間登録制)	東京					
	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年4月～2015年3月 (全11回)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 東京</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ① 226,800円 (会員) 1社(2名登録可) ② 324,000円 (会員外) 1社(2名登録可)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年4月～2015年3月 (全11回)	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ① 226,800円 (会員) 1社(2名登録可) ② 324,000円 (会員外) 1社(2名登録可)
開催時期	● 2014年4月～2015年3月 (全11回)						
開催場所	● 東京						
参加料 (消費税込)	● ① 226,800円 (会員) 1社(2名登録可) ② 324,000円 (会員外) 1社(2名登録可)						
54	関西ロジスティクス研究会 (年間登録制)	大阪					
	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年5月～2015年3月 (全11回)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 大阪</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ① 81,000円 (会員) 1名あたり ② 105,840円 (会員外) 1名あたり</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年5月～2015年3月 (全11回)	開催場所	● 大阪	参加料 (消費税込)	● ① 81,000円 (会員) 1名あたり ② 105,840円 (会員外) 1名あたり
開催時期	● 2014年5月～2015年3月 (全11回)						
開催場所	● 大阪						
参加料 (消費税込)	● ① 81,000円 (会員) 1名あたり ② 105,840円 (会員外) 1名あたり						
55	九州ロジスティクス活性化研究会 (年間登録制)	福岡					
	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年6月～2015年3月 (全9回)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 福岡</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ① 54,000円 (会員) 1名あたり ② 70,200円 (会員外) 1名あたり</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年6月～2015年3月 (全9回)	開催場所	● 福岡	参加料 (消費税込)	● ① 54,000円 (会員) 1名あたり ② 70,200円 (会員外) 1名あたり
開催時期	● 2014年6月～2015年3月 (全9回)						
開催場所	● 福岡						
参加料 (消費税込)	● ① 54,000円 (会員) 1名あたり ② 70,200円 (会員外) 1名あたり						

56

国際物流総合展 2014 のご案内

国際物流総合展2014 LOGIS-TECH TOKYO 2014 開催概要

目的 内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトとハードを一堂に結集し、交易振興・技術の向上・情報の提供・人的交流等を促進することを目的とする。

テーマ ロジスティクスで経営革新 ～解決のレシピを探せ～

会期 2014年9月9日(火)～12日(金) 10:00～17:00 **会場** 東京ビッグサイト 東展示棟

主催 一般社団法人 日本産業機械工業会 一般社団法人 日本産業車両協会 一般社団法人 日本パレット協会
一般社団法人 日本運搬車両機器協会 一般社団法人 日本物流システム機器協会
公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 一般社団法人 日本能率協会

展示予定規模 450社/1,600小間 (前回: 411社 1,594小間) **入場予定者数** 130,000名 (前回: 129,192名)

出展料
(消費税込)

主催団体	会員	1小間目	: 378,000円	2小間目以降	: 324,000円
	会員外	1小間目	: 453,600円	2小間目以降	: 388,800円

※(1小間: 間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m)

物流改善事例から学ぶ

*有資格者優待の対象です。

57	全日本物流改善事例大会 2014 東京	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年4月22日(火)・5月20日(火)(2日間開催)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 東京</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ①36,720円 (会員) ②60,480円 (会員外) ③29,376円 (有資格者優待)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年4月22日(火)・5月20日(火)(2日間開催)	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ①36,720円 (会員) ②60,480円 (会員外) ③29,376円 (有資格者優待)	<p>物流の現場において合理化の成果をあげている優れた改善事例をご発表いただき、実務担当者が各々の現場の課題解決の手がかりやノウハウを共有し合うことで、視野を広げ、今後の物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。</p>
	開催時期	● 2014年4月22日(火)・5月20日(火)(2日間開催)							
開催場所	● 東京								
参加料 (消費税込)	● ①36,720円 (会員) ②60,480円 (会員外) ③29,376円 (有資格者優待)								
58	関西物流改善事例発表会 2014 大阪	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年10月 (1日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 大阪</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ①14,040円 (会員) ②22,680円 (会員外) ③ 8,640円 (有資格者優待)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年10月 (1日)	開催場所	● 大阪	参加料 (消費税込)	● ①14,040円 (会員) ②22,680円 (会員外) ③ 8,640円 (有資格者優待)	<p>主に関西地域の物流現場における改善事例をご発表いただき、その手法やノウハウを共有することで、さらなる物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。</p>
	開催時期	● 2014年10月 (1日)							
開催場所	● 大阪								
参加料 (消費税込)	● ①14,040円 (会員) ②22,680円 (会員外) ③ 8,640円 (有資格者優待)								
59	中部物流改善事例発表会 2014 名古屋	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年11月 (1日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 名古屋</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年11月 (1日)	開催場所	● 名古屋	参加料 (消費税込)	● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)	<p>主に中部地域の物流現場における改善事例をご発表いただき、その手法やノウハウを共有することで、さらなる物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。</p>
	開催時期	● 2014年11月 (1日)							
開催場所	● 名古屋								
参加料 (消費税込)	● ① 8,640円 (会員) ②17,280円 (会員外) ③ 5,400円 (有資格者優待)								

物流施設を見学して学ぶ

*物流施設の見学を通して、最新の物流技術、物流現場の運営方法等を研究します。

60	物流テクノロジー現地フォーラム 2014 東京 大阪 名古屋	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">東京開催</td> <td>● 2014年5月～2015年3月</td> </tr> <tr> <td>● 期間中に9回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>● ①162,000円 (会員) (消費税込)</td> </tr> <tr> <td>● ②194,400円 (会員外) (消費税込)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大阪開催</td> <td>● 2014年7月～2015年3月</td> </tr> <tr> <td>● 期間中に7回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>● ①136,080円 (会員) (消費税込)</td> </tr> <tr> <td>● ②174,960円 (会員外) (消費税込)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">名古屋開催</td> <td>● 2014年9月～2015年3月</td> </tr> <tr> <td>● 期間中に6回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>● ①64,800円 (会員) (消費税込)</td> </tr> <tr> <td>● ②97,200円 (会員外) (消費税込)</td> </tr> </table>	東京開催	● 2014年5月～2015年3月	● 期間中に9回		● ①162,000円 (会員) (消費税込)	● ②194,400円 (会員外) (消費税込)	大阪開催	● 2014年7月～2015年3月	● 期間中に7回		● ①136,080円 (会員) (消費税込)	● ②174,960円 (会員外) (消費税込)	名古屋開催	● 2014年9月～2015年3月	● 期間中に6回		● ①64,800円 (会員) (消費税込)	● ②97,200円 (会員外) (消費税込)	<p>技術革新の著しい物流テクノロジー、効率的な運営を行っている物流現場に焦点をあて、現地研修ならびに施設見学を通して、最新の物流技術、物流現場の運営方法等を研究します。</p>
	東京開催	● 2014年5月～2015年3月																			
● 期間中に9回																					
	● ①162,000円 (会員) (消費税込)																				
	● ②194,400円 (会員外) (消費税込)																				
大阪開催	● 2014年7月～2015年3月																				
	● 期間中に7回																				
	● ①136,080円 (会員) (消費税込)																				
	● ②174,960円 (会員外) (消費税込)																				
名古屋開催	● 2014年9月～2015年3月																				
	● 期間中に6回																				
	● ①64,800円 (会員) (消費税込)																				
	● ②97,200円 (会員外) (消費税込)																				
61	現場研究会 東京 大阪 名古屋 福岡	<table border="1"> <tr> <td>開催時期</td> <td>● 2014年5月～2015年3月</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>● 東京、大阪、名古屋、福岡</td> </tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td> <td>● ①5,400円～16,200円(会員) 1回あたり ②10,800円～32,400円(会員外) 1回あたり *会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。</td> </tr> </table>	開催時期	● 2014年5月～2015年3月	開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡	参加料 (消費税込)	● ①5,400円～16,200円(会員) 1回あたり ②10,800円～32,400円(会員外) 1回あたり *会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。	<p>先端設備・技術や巧みな運用で効率を上げている物流施設を見学するとともに、訪問先担当者との情報交流をはかりま</p>												
	開催時期	● 2014年5月～2015年3月																			
開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡																				
参加料 (消費税込)	● ①5,400円～16,200円(会員) 1回あたり ②10,800円～32,400円(会員外) 1回あたり *会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。																				

ロジスティクスコンセプト 2020

当協会では、創立20周年記念事業として実施した「2020年ロジスティクス総合調査」の成果の一部として「ロジスティクスコンセプト2020」を作成しました。

「ロジスティクスコンセプト2020」は、産業界、社会に対し、将来におけるロジスティクスのあるべき姿とそれを実現するための取り組み指針を示しております。

【これからのロジスティクスのあるべき姿】

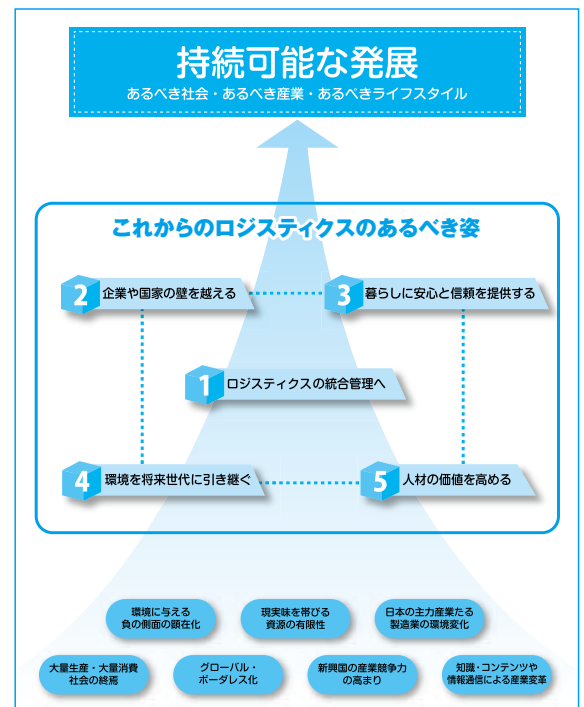
ロジスティクスを物流管理の延長で語る時代は終わりました。戦後長く先進工業国であった日本は、今や大量生産・大量消費を前提としたこれまでの産業構造とそれを基盤とした社会構造から、大きく転換しつつあります。その中でロジスティクスのあり方も、物の移動だけではなく、産業や生活の場に届けられる価値に主眼を置いたものへと、変革を迫られています。

現代の社会・産業は、それが環境に与える負の側面が顕在化し、資源の有限性が現実味を増すに伴って、環境への調和と資源の有効活用に立脚した、持続可能な構造へと転換することが求められています。また、日本はそのような社会・産業構造の転換を先導する立場にあります。

一方で、日本を取り巻く状況に目を転じると、先進国の競争優位を支えてきた科学技術や教育・インフラ等の社会システムが普遍化して新興国の産業化が進展すると同時に、これまで日本の主力産業であった製造業を取り巻く環境が変化して来ています。それに伴い、国内雇用が縮小し、より競争的で流動的な労働環境へ移行する等の影響も顕在化しています。これに対して、インターネット等の分野で新たな産業が生まれたり、あるいは製造・流通・出版・金融等の既存の企業が、知識・コンテンツや情報通信に着目した新たなビジネスモデルへと転換したり、あるいは環境問題に対応するため、省エネルギーや代替エネルギー、リサイクル等を担う新たな産業が誕生するといった動きも出てきており、今や日本の産業構造が大きく変化しつつあります。

このような変化に対して引き続き日本の産業活動と国民生活を維持・発展させるため、これからのロジスティクスは、その基本に立ち戻って企業内の統合管理を徹底したうえで、全体最適の視野を拡げて、グローバル化するサプライチェーンの効率性と持続可能性を高め、安全・安心な生活に貢献するようなマネジメントへと発展しなければなりません。また、ロジスティクスは産業および社会における上記のような役割を果たすだけでなく、その領域をさらに拡大し、社会の持続可能なライフスタイルへの変革の一端を担うことも望まれます。

*詳細の冊子版は当協会のホームページよりダウンロードが可能です。 <http://www.logistics.or.jp/propulsion/index.html>



公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 入会のご案内

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会はロジスティクスシステムの高度化と普及推進を使命とし、あらゆる業種からの817社（2013年11月現在）の会員により組織・運営されております。会員には様々な特典が用意されております。是非この機会にご入会いただき、貴社のロジスティクス高度化のためにご活用ください。

会員特典

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1) テーマ別研究会・現場研究会への参加（実費） | 5) 事業利用上の特典 |
| 2) 機関誌『ロジスティクスシステム』の無料配布（年間6号発行予定） | ① セミナー、フォーラム、大会等の参加料割引 |
| 3) 各種情報サービス | ② 資格認定講座の受講料割引 |
| 4) 当協会主催展示会の入場券無料配布 | ③ 当協会主催展示会の出展料の割引 |
| | ④ 講師派遣、企業内教育の支援 |
| | ⑤ コンサルティング、診断の相談 |

・入会は随時受け付けております。当協会の趣旨にご賛同の法人であれば所定の手続きを経て、ご入会いただけます。
・入会金：1万円 ・年会費：12万円（1口につき） *年度途中のご入会の場合は、月割計算いたします。

パンフレット送付依頼フォーム

この『人材育成支援ガイド2014』に記載されている資格認定講座、セミナー、各種催し等に関する、詳細パンフレットをご送付いたしますので、下記の送付依頼フォームに必要事項をご記入の上、E-mailもしくはFAXにて、事務局までご請求ください。

各パンフレットとも、開催日の1ヵ月前までには、郵送させていただきます。

【お問い合わせ先】 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

本 部	〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム3F T E L 03-3436-3191 F A X 03-3436-3190 担当：業務管理部 (shien@logistics.or.jp)
関西支部	〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENT オフィスタワー19階 T E L 06-4797-2070 F A X 06-4797-2071 担当：角新 (kadosin@logistics.or.jp)
中部支部	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17 T E L 052-588-3011 F A X 052-588-3012 担当：大川 (ookawa@logistics.or.jp)

ご送付先

所在地	〒	
お会社名		
ご所属		
ご役職		
ふりがな	電 話	F A X
お名前		
E-mail		

ご希望のパンフレット

NO	プログラム名 (資格認定講座名・セミナー名など)	受講希望場所 ※○印をご記入ください	備考欄
		() 東京 () 大阪 () 名古屋 () 福岡	
		() 東京 () 大阪 () 名古屋 () 福岡	
		() 東京 () 大阪 () 名古屋 () 福岡	
		() 東京 () 大阪 () 名古屋 () 福岡	

- このパンフレット送付依頼フォームは申込書ではございません。
お申し込みには各プログラムの詳細パンフレットをご利用くださいますようお願いいたします。

個人情報のお取扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシーをご覧ください。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 (<http://www.logistics.or.jp>)

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

本 部 〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム3F
TEL 03-3436-3191 FAX 03-3436-3190

関西支部 〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19階
TEL 06-4797-2070 FAX 06-4797-2071

中部支部 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17
TEL 052-588-3011 FAX 052-588-3012
